

新井宿自治会連合会総会の開催

5月29日、新井宿出張所において、新井宿自治会連合会総会が開催されました。総会後に開かれた懇親会では、自治会・町会役員永年在職者に対して松原区長から、退任副会長に対して鈴木連合会長から、それぞれ感謝状が贈呈されました。受賞者は右のとおりです。

【退任副会長】	米山 政美	中川 久庸
	石塚 みき	堀切 和辰
	町田 永司	塚本 好美
【永年在職者】	梁田 ユリ子	鈴木 光輝
	新木 意知子	濱田 弘子
	堀山 由美子	立石 康子
	小澤 昇	谷口 敏子
	神保 照子	久保 喬
		五十嵐英之助

(敬称略)

63年目の卒業証書

3月24日、第83回山王小学校卒業式において、山王三・四丁目自治会婦人部長の田中和子さんへ、子どもたちと一緒に卒業証書が手渡されました。

三留校長先生の式辞の一部を紹介します。『さて、本日は皆さんの他にもうおひと方卒業生がいます。山王小学校、当時は入新井第三国民学校と言いましたが、田中さんが入学してしばらくすると、太平洋戦争とって大きな戦争になりました。

空襲が激しくなると、子どもたちの命を守るため「疎開」といって地方に子どもたちを避難させることになりました。今と違い食べ物は殆どなく、不慣れな地方の生活で厳しい毎日を送りました。勤労奉仕で小学生も田植えや稲刈り、草取りなど忙しく働いたそうです。そんな田中さんに終戦の混乱で卒業証書が出されていないことが分かりました。このことを知った町の皆さんが、「是非、田中さんに卒業証書」と事実を知らせてくださいました。そこで皆さんに紹介し、



本日この場で卒業証書をお渡しすることとしました』話を聞く子どもたちの真剣な表情を見て、子どもたちにとっても最高のプレゼントになったと確信しました。本当に、おめでとございました。

“わがまち”を照らす『街路灯完成』

昭和22年、新井宿六丁目に観音通り共栄会が発足し、地域の皆様にご愛顧をいただきながら61年目を迎えようとしております。

街路灯も何代か更新を重ねてまいりましたが、新しい街路灯が3月末に完成いたしました。新しい街路灯は、デザインも大変好評で、照明も2灯のうち1灯がナトリウム灯と言うことで、以前より明るく、街をやわらかくそして暖かくつづんでいます。

これからも、地域の皆様に愛される商店街をめざして、会員一同、より一層努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

観音通り共栄会会長 酒井 和夫



お知らせ
新井宿五丁目町会長 豊田正一様におかれましては、4月6日ご逝去されました。心からご冥福をお祈りいたします。

編集後記

一面の龍子記念館所蔵の「桜芥子図襖」はテレビ番組「開運なんでも鑑定団」を見ていた人で、大田区、ばかりでなく日本中で沸き立ったと思います。
二、三面は、たいへん恵まれていることに、私たちの地域内にある「大田文化の森」のご案内です。人々のふれあ

いの場であり又、文化は人々の心を豊かにしていきます。大いに活用してまいりましょう。
なお、4月1日に発行しました第44号四面の「大田区政功労者賞」欄、坂井和夫様は正しくは、酒井和夫様に訂正致します。
< 河原編集委員 >

発行 わがまち大田新井宿地区推進委員会
編集 「わがまち新井宿」編集委員会

山王三・四丁目自治会	編集委員長	高橋 紗英子
山王三丁目町会	副編集委員長	延島 武男
山王三丁目東自治会	編集委員	荒木 秀樹
山王三・四丁目自治会	編集委員	大瀧 真理子
中央一丁目町会	編集委員	齋藤 蓉子
中央四丁目町会	編集委員	若生 一順
新井宿五丁目町会	編集委員	谷口 敏子
新井宿六丁目町会	編集委員	河原 神風代
新井宿七丁目町会	編集委員	石田 小夜子

……共同編集……

監修 新井宿地区自治会連合会
事務局 大田区新井宿特別出張所
大田区中央4-31-14 ☎3776-5391
<http://www.city.ota.tokyo.jp/kita/index.html>

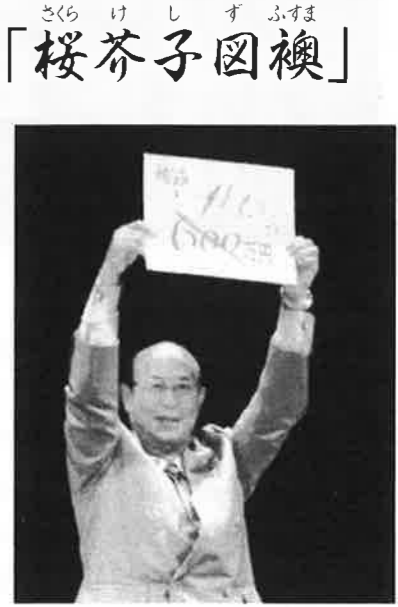
わがまち Araijuku 新井宿



新井宿のお宝発見・川端龍子旧宅の「桜芥子図襖」

アプリコを会場として開催された「出張なんでも鑑定団in大田区」が3月4日に放映されました。

大田区のお宝「桜芥子図襖」を持って出場されたのが、何と松原大田区長ではないですか。会場の観客は言うに及ばず、テレビの前の私たちも大興奮。鑑定金額1500万円の札を高々と上げられた区長の笑顔が忘れられません。



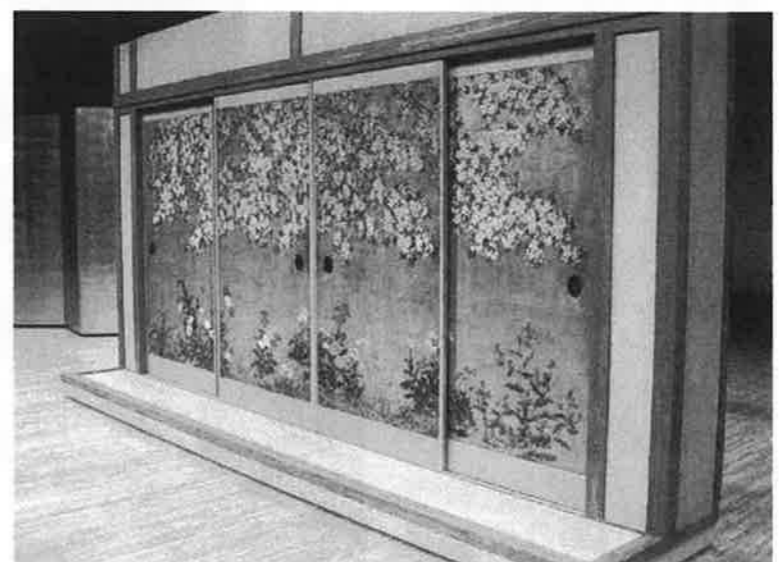
松原大田区長

この襖は、川端龍子の旧宅で持仏堂と仏間を仕切るために使われていますが、鑑定団の放映にあわせて龍子記念館で、3月4日から23日までの期間、特別公開されました。この間、多くの方にご来場いただいたとのことです。

「桜芥子図襖」は、琳派の代表的な画家、俵屋宗達の工房で描かれたといわれる非常に貴重な作品で、江戸時代初期（1624年～43年）のものとしてされています。襖の右下に記された「伊年」印は、この工房の作品であることを表していて、これが決め手となって本物と鑑定されました。

「伊年」印は、俵屋宗達が仏法での最高位、法眼に次ぐ律師の位を授けられてから用いられた印章で、琳派の作品の中でも最高の作品に記されていることから、「桜芥子図襖」が優れたお宝であることが証明されます。

鑑定団のお墨付きをいただいたこの襖絵は、地域の大切な文化財であり、こうして身近に鑑賞できることは最高の幸せでもあります。



龍子記念館所蔵「桜芥子図襖」
168.7×371.2cm

襖の上部に桜の花を大胆に描き、下には春の可憐な草花が咲きみだれています。

「下段に描かれている草花」
けし、野あざみ、たんぽぽ、つくし、わらび、ゆきのした、すみれ、しらん



「大田文化の森」区民の文化活動の支援と地域の和づくりをめざして

新井宿の夏の風物詩

8月1日(金)・2日(土)

2008文化の森夏祭り

(カラオケ・盆踊り)



今年の文化の森運営協議会活動テーマ

自分を発見、出会いから!輝くボランティア

どんな施設

大田文化の森は、旧大田区役所の跡地を大田区民の文化活動施設として2001年11月に設立されました。大田文化の森は区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営は、地域の実情に合わせた区民や団体による自主運営など多様な方式を積極的に取り入れ、より利用しやすく、親しみのもてる施設になることを目的としています。

どんなことしているの

大田文化の森運営協議会では人と人、また地域との繋がりを大切に考え、幼児から3世代まで参加でき、春夏秋冬、全館あげての自主企画としてフォーラム、夏祭り、収穫祭、まちづくりフェスタの4大祭りが開催されます。

その他に実行委員会企画があり、芸術事業実行委員会、誰でも楽しめる実行委員会、こども若者実行委員会、異文化交流実行委員会、まちづくり実行委員会の中で一般市民の方が自ら企画し実施しています。

どうしたら参加できるの

1. 文化プレーヤーに登録して実行委員になる
2. やりたいことを「公募による事業」に応募する
3. ボランティアとして参画する
(文化プレーヤー登録して希望の活動をする)

企画の問合せ先：大田文化の森運営協議会事務局

電話：03-3772-0770 FAX：03-3772-0704
営業日 月～金 9:00～18:00(土・日・祝は休み)

文化の森運営協議会と新井宿自治会連合会と共催。ホールで日頃ののど自慢をご披露するカラオケ大会、広場で櫓を組んで盆踊り・屋台、また子どもたちが自分で作って楽しむ作品コーナー、ガーデニングの体験などを今年も開催。みんなで楽しみましょう。



カラオケ・盆踊り大会



子ども作品コーナー



8月と9月の文化の森運営協議会企画

開催日

- ・鈴鹿景子の読み語り「八月の蒼い空」 8月6日(水)
- ・やってみよう! 8月24日(日)
- 不思議なペーパーマジック
- ・中国の音楽と舞踊 8月24日(日)
- ・絵手紙で夏の思い出づくりを! 8月26日(火)
- ・夏休みこども落語まつり 8月30日(土)
- ・浮世絵へのいざない〔Ⅱ〕 9月10日・24日
- ・トライ! ジョイントコンサート 9月13日(土)
- ・大田文化の森落語会季節寄席〈秋〉 9月20日(土)
- ・魅力がいっぱい 9月21日(日)
- バレエのワークショップ
- ・若手劇団による海洋歴史ロマン 9月27日(土)
- 「HERITAGE (ヘリテージ)」
- ・ハーブを使った家庭料理講習会 9月28日(日)

文化の森施設案内

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、有料駐車場(33台)
スポーツスタジオ(リハーサル室、スカッシュコート)・音楽スタジオ(3部屋)・和室・調理室・美術室・工芸室・第1～第4集会室 —午前9時～午後10時—
情報館図書コーナー・マルチメディアコーナー —午前9時～午後7時—

施設利用、予約状況に関するお問い合わせ

大田文化の森(財団法人大田区文化振興協会)
03-3772-0700(施設利用の申込み、概要について)
03-3772-0740(情報館・図書コーナー、マルチメディアコーナー)
定休日 毎月第二木曜日